

関常幸 議会報告

第44号
2018.1

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐2015番地
TEL 025-777-2245



寒中お見舞い申し上げます

「日本国憲法」を考えよう！

日本国憲法は昭和21年に制定され今年で72年、一度も改正されていないのは日本だけです。アメリカは6回、中国、韓国は9回、フランスは27回、ドイツは59回。

国内外の情勢は大きく変化しました。少子高齢化、人口減少、科学技術の進歩、中国の進出、北朝鮮の脅威等新たな波が押し寄せている。元号が変わろうとしている今、新しい時代にふさわしい「日本国憲法」を、国民自らの手で制定することが大切です。

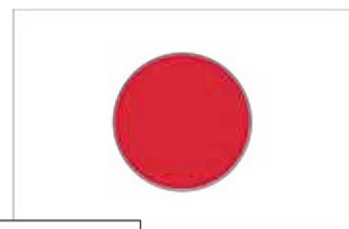
現行憲法の「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの基本原理は堅持しつつ、前文を見直し、自衛隊の明記、教育の無償化、武力攻撃・大規模自然災害等の緊急事態対応、参議院の合区解消、環境保全の責務、家族の尊重などの項目を入れる必要があります。

冷戦時代（米国、ソ連二大強国・昭和20年～平成3年）は、戦争を放棄している9条に自衛隊を明文化すると、アメリカの好きなように自衛隊をつかわれてしまうという懸念があり、自民党の中（ハト派）でも、アメリカが強い力を発揮していたので、「9条に自衛隊を明記しない」は、戦後の平和を守るチエであった。

現在、違憲と言われている自衛隊を否定する人はいないし、トランプ・アメリカ大統領の発言を見れば、いつまでもアメリカの傘下に入っていられない。独立国としての国防のあり方を示すためにも、9条に自衛隊を明記することは大切です。9条に自衛隊の明記と同時にその役割をもきちんと明文化する。そのことで、戦争にまい進すると、不安を抱いている人にも理解されると思います。

国民の生命と財産を守るのが憲法です。先の東北大震災、福島原発事故の時、憲法に明記が無いから速やかな対応ができなかった苦い経験があります。また、北朝鮮、中国、ロシアをはじめ近隣諸国の事を考えれば、憲法改正は必要です。

憲法改正は国会で三分の二の賛成を得。そして、国民投票で過半数を得なければなりません。未来の子供たちのためにも憲法改正について考えよう。



現在の憲法には、国旗、国歌のことは記されていない。明記すべきと思う。

12月議会（12月4日～15日）

昨年10月の市議会選挙、議員定数4名減の22名。3人超過の激戦を戦い、4期目の議員の席を得る。所属委員会は社会厚生委員会。そして、議員会の会長を仰せつかる。現在68歳ですが、議会では最年長です。

会派（同じ政治理念を持った同志）は、「南魚みらいクラブ」で新人2名が加入し7名。最大会派ですので議会の方向を決めますし、市長とは政策で激論を交わしたり、時には情報の共有や勉強会を行なう。

予算5件、条例10件、その他9件の議案を審議した。一般質問では、新人議員4名を含む16名が市長と対峙する。

市長所信表明



- ・イオン「六日町店」に「ほのぼの広場」が12月21日にオープン。
- ・スケートパークは11月4日にオープン、
- ・平昌オリンピックに市出身選手2人が出場、メダル獲得に期待。
- ・井戸掘りができなかった六日町市街地で条例改正により新設が11件、掘替が11件。反面、その他地域から新条例では水が出なくなる等の問い合わせあり、柔軟に対応。
- ・新ごみ処理施設の燃焼方式は、ストカー方式に。場所は今年度中に決める。
- ・八箇峠道路6.6キロメートル（野田～十日町市）が11月25日に開通。
- ・来年4月から水道基本料金2415円を215円下げ、2200円とする。
- ・29年の稲作作況は全国100、県96、魚沼97。
- ・3年目の「本気井」10月末時点で、約44000食（昨年29000食）。
- ・新ナンバープレート導入について2市2町で協議。

★＜一般質問＞12月12日

大和、塩沢地区の地下水井戸掘削、 新条例では雪が消えない！

六日町では、地盤沈下対策として平成6年から地盤沈下区域で井戸掘削が規制されてきたが、その弊害として市街地の人口流失や空洞化が進んだ。この対応として、9月議会で、地盤沈下区域でも井戸掘削を可能としたが、大和、塩沢、地盤沈下区域を除いた六日町地域で、条例改正前と比べ揚水量が減少することも懸念される。

また、ポンプの洗浄・入れ替えが許可申請となり、故障時には、再度水が出るまでに、2週間を要することもある。降雪時に雪を消すことが

出来ず、市民生活に支障が生じるが、市長の見解を伺う。

市長

許可水量の算定方式を変更したため、条例上の基準では水量が不足することもあると思う。その場合は理由を記して申請すれば、地下水対策委員会の審議を得て、基準を超えて許可することができる。これまでより雪が消えないと言う事態は、基本的には生じないようにする。

雪降り中のポンプの故障時には、担当部署が迅速に対応し、生活に支障が無いようにする。

★12月議会の視点

●第105号議案 29年度一般会計補正予算

12月の補正予算と言うと、従来事業の過不足等を計上するのがほとんどだが、新規事業（東京オリンピックを念頭に「雪利用」）で企画費として700万円が提案された。さすが市長と思ったが共産党は大反対。

●第111号議案 議員報酬

30万円の報酬を5千円アップの30万5千円の提案に対し、議員4名減少した分を22名に上乘せし35万円にすべきと質問する。全国の市議会814市の平均報酬は42万1千円。人口規模5～10万人は39万円。人口5万人未満は33万円。林市長も議員報酬は低いと言っている。

30代、40代の若い人が議員になりやすくするためにも、この4年間「議員報酬と議員の働く環境」問題に取り組もうと思った。

●第114号議案 児童生徒の就学援助条例の一部改正

就学援助制度とは、所得が少なく経済状況が厳しい家庭（小中学生）に、学用品費、給食費、修学旅行費等を援助する制度だが、新入学用品を前倒しで支給することに決めた。従来支給は7月であったが、3月末までに支給し、金額も4万円と倍にした。

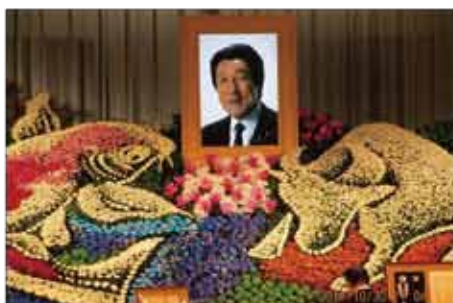
●発議第10号 慎重な憲法論議を求める意見書提出

衆参の憲法審査会は平成19年に設置され議論してきた。拙速な憲法改正でないと賛成少数（6人）で否決される。

活動日誌



10.22 4期目当選



10.30 長島代議士お別れの会



10.31~11.10 浦佐菊まつり



11.21 湯沢砂防視察



11.23 松原県議県政報告会



11.29 中国総領事表敬訪問



12.3 鐘楼落慶法要竣工式



12.3 林市長後援会忘年会



12.21 子育ての駅
「ほのぼの」オープン



12.26 自民党大和支部役員会



1.6 衆議院議員泉田裕彦
事務所開所式・新年懇親会



1.11 浦佐地区
賽の神まつり

★ 裸押し合い「国の重要無形民俗文化財指定」

平成16年に、文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択」として指定を受け14年。この間、学術的な報告書、映像の作成と地区民を上げての取り組みが今日の日を迎えた。



樺澤住職様は、本指定を受け身に余る光栄です。身が引き締まる思いと語る。私も大祭委員会は、この1200年の歴史ある「浦佐毘沙門堂の裸押し合」を、未来永劫継続していくために、今、何をすべきかと地域の皆さんと改めて考えたい。

今年の大祭は3月3日・土曜日です。国の重文指定に恥じない、盛大な大祭にすべく多聞青年団と準備を進めている。皆様のお出でをお待ちしています。

★ 黒井安雄氏「旭日双光章」受賞記念祝賀会 (12月16日)



大和郷土地改良区理事4年、理事長として16年、その間県土地改良連合会副会長4年。その長きのご功績に対し「旭日双光章」という名誉ある勲章をいただく。全国秋の受勲で70歳と言う一番若くしていただいたという。

黒井さん本当におめでとうございます。そして、陰でいつも支えていた奥様、おめでとうございます。大きい声で突っ走る黒井さんを、家庭ではどのように操縦していたのでしょうか……？この受章はまさに奥様とお二人でいただいたものだと思った。

★ 小澤実氏「南魚沼市議会議長」就任祝賀会 (12月17日)

昨年11月7日の臨時議会で第9代議長に選任される。おめでとうございます。会場のホテルオカベは、小澤さんを支援した後援会の皆さんで立錐の余地もない。

今、南魚沼市は人口減少がすすむ中、林市政となり1年「若者が帰ってこれる」まちづくりをスピード感をもって進めている。そして大和地区は、ITパーク、魚沼基幹病院、北里学院、国際大学、新幹線駅と将来魚沼地域の中心としての役割が求められており、小澤議長の活躍が期待されています。新潟に南魚沼市議会ここにありと言われるように共にがんばりましょう。



自民党県連会長 塚田先生激励のあいさつ

★新春賀詞交換会 (1月11日)



編集後記

●新しい年を毘沙門様で迎えた。内陣は凛として別世界だ。南魚沼市の更なる発展と皆様の健康を毘沙門様にお願ひした。●これから寒さが本格的になります。風邪や健康にご留意ください。そして、交通安全です。●関常幸で検索し、ホームページをご覧ください。い。そして、ご意見もお寄せください。

第1部ふるさとライブ 南魚沼市交流大使第1号柳古新田出身ソロシンガーソングライターTUNE Iさん